



SHINWA  
FUKUSHIKAI  
親和福祉会

令和2年度事業報告書



## 法人本部

### (1) 理事会・評議員会・監査

<b>計画</b>	①理事会 6月・12月・3月 ※定例開催 ②評議員会 6月・3月 ※定例開催 ③監事監査 5月
<b>報告</b>	①理事会開催状況 第1回 令和2年 6月 9日 (書面議決) 第2回 令和2年10月20日 出席理事6名 第3回 令和2年12月15日 出席理事5名 第4回 令和3年 3月19日 出席理事6名  ②評議員会開催状況 第1回 令和2年 6月24日 (書面議決) 第2回 令和2年10月28日 出席評議員5名 第3回 令和2年12月23日 出席評議員6名 第4回 令和3年 3月29日 出席評議員7名  ③監事監査実施状況 実施日 令和3年5月28日

### (2) 運営事務局会議

<b>計画</b>	①適切かつ効果的な法人運営を行うため、毎月運営事務局会議を開催する。 (構成：事務局/管理者) <重点項目(1)> ②利用ニーズと地域の実情に応じた事業の実施に向け、事業計画を作成し、新潟市秋葉区の市有財産「旧満日小学校の建物(校舎)・土地」の公募型プロポーザル方式による貸付に応募する。<重点項目(2)> ③安定した人材確保に向けて、人事労務に関する諸規程の見直しや、時代にあった働き方を可能とする雇用形態の検討を行い、雇用管理の充実を図る。 <重点項目(3)>
<b>報告</b>	①計画通り会議を実施した。 ②計画通り実施し採択され、実施に向け取り組んだが想定外の事態から撤退することとした。 ③諸規程の見直しを行うとともに、今後の働き方・雇用形態についての検討と今後の課題の整理を行った。

### (3) 財務管理

<b>計画</b>	法人事務局において、社会福祉法人会計基準および経理規程を遵守し、適正かつ効果的な財務管理を行う。 ①会計事務処理の本部事務局一元化。 ②適正な予算執行等の財務管理。 ③会計事務所による2ヶ月に1度の巡回指導の実施。
<b>報告</b>	①計画どおり実施した。一元化するにあたり課題も見られたため今後の体制強化についての検討を行った。 ②計画どおり実施した。 ③計画どおり実施した。

### (4) 委員会 <重点項目(1)>

<b>計画</b>	①倫理綱領検討委員会 倫理綱領の作成と周知、遵守に向けた取り組み。 ②虐待防止検討委員会 虐待防止に関わる取り組みの検討・実施、規程等の整備。
<b>報告</b>	①計画どおり実施し、倫理綱領及び職員行動規範を作成し、職員への周知と遵守の徹底を図った。 ②全事業所で統一した取り組みを行えるよう、実施マニュアルを作成し、セルフチェックやグループワークを行った。

### (5) 地域連携・地域貢献

<b>計画</b>	①六条大麦を活用した取り組みへの参加。 ②関係諸団体への所属・連携。 ③地域イベントの協働・参加。地域の方を対象とした自主イベントの企画・実施。 ④ボランティア・職場体験・体験学習・実習生の受け入れを行う。
<b>報告</b>	①関係各所と連携し、フードメッセに参加しPRを図った。 ②計画どおり実施した。 ③コロナ禍の影響もあってイベント参加や交流の機会は限定された。 ④感染対策に留意して、実習生の受け入れを行った。

### (6) 情報公開

<b>計画</b>	①各事業所による広報誌の発行。 ②事業運営の透明性を図るため、ホームページに、定款・現況報告・財務諸表・事業所評価等の掲載。
<b>報告</b>	計画どおり実施した。

## (7) 苦情受付及び第三者委員の配置

計画	①法人苦情解決規程にのっとり対応を行うとともに、苦情内容・対応を公表する。 ②各事業所に苦情受付担当者及び解決責任者を配置する。 ③第三者委員2名 皆藤 充：前評議員 湯上 綾子：前評議員
報告	計画どおり各事業所に苦情受付体制を整備し、苦情の受付、解決にあたった。 *受付件数・内容は別表参照 第3者委員会の活動を依頼する事案は無かった。

## (8) 防災・危機管理

計画	①防災計画策定・必要な訓練の実施。 ②事故・ヒヤリハット記録の整備、報告に基づく検討、会議の実施。 ③個人情報取扱要項に基づき、個人情報保護の徹底を図る。
報告	①各事業所において計画を立て、防災訓練を実施した。 ②各事業所において記録の整備、周知を図り事故防止に努めた。 *事故件数・内容は別表参照 ③個人情報については、同意書の署名を得たうえで情報保護を徹底した。

## (9) 健康管理

計画	①健康診断・内科検診・歯科検診を実施し、協力医療機関体制を整備する。 協力医療機関：ほしの医院 ②感染症予防マニュアルの策定・必要な措置を講じる。
報告	①計画どおり実施した。 ②法人で新型コロナウイルス感染症に関する取り決めに統一し、周知するとともに各事業所において、検温、消毒、換気等の感染対策を徹底した。 また、コロナ対策助成金を活用し、3密を避ける対策や研修や会議等をオンラインでできる体制の整備を図った。

## (10) 職員採用

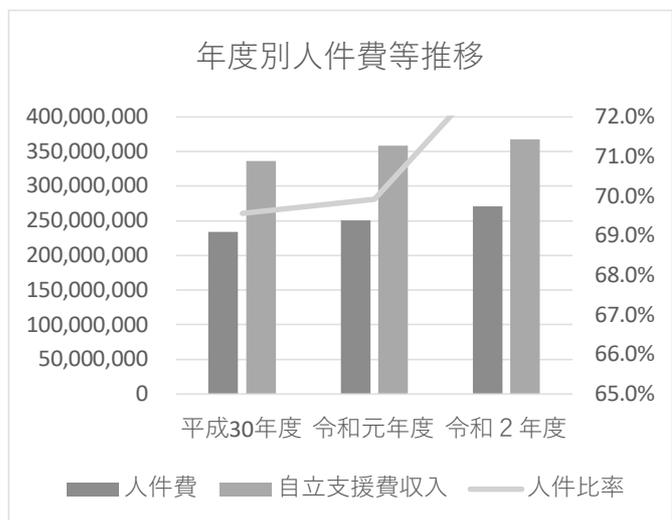
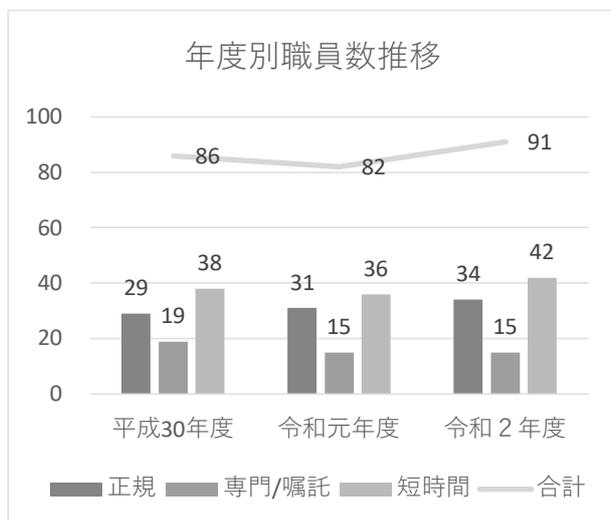
計画	新規事業の開始と法人職員体制の充実を図るため、正規職員の採用試験を行う。
報告	下記のとおり採用試験を実施、計画通り必要な人員数を確保した。 ①11月28日 第1回正規職員採用試験の実施 3名採用 ② 3月 6日 第2回正規職員採用試験の実施 1名採用

年度別職員雇用状況

事業名	平成30年度				令和元年度				令和2年度				備考
	正規	専門/嘱託	短時間	合計	正規	専門/嘱託	短時間	合計	正規	専門/嘱託	短時間	合計	
本部	1名	1名	1名	3名	1名	1名	1名	3名	1名	1名	1名	3名	
しんえい	10名	3名	4名	17名	9名	3名	7名	19名	9名	3名	9名	21名	
けやき	8名	7名	13名	28名	9名	4名	13名	26名	11名	3名	14名	28名	
ぶどう	3名	2名	6名	11名	3名	1名	7名	11名	3名	1名	7名	11名	
コトイロ	2名	3名	8名	13名	4名	4名	2名	10名	3名	5名	4名	12名	
ララスマイル	3名	2名	5名	10名	4名	1名	5名	10名	5名	1名	6名	12名	うち長期休暇のみ1名
アンバス	2名	1名		3名	1名	1名		2名	2名	1名		3名	
クラシック			1名	1名			1名	1名			1名	1名	兼務職員15名
合計	29名	19名	38名	86名	31名	15名	36名	82名	34名	15名	42名	91名	

年度別職員人件費推移

事業名	平成30年度			令和元年度			令和2年度		
	人件費	自立支援費収入	対人件比率	人件費	自立支援費収入	対人件比率	人件費	自立支援費収入	対人件比率
本部	4,697,967			8,407,037			9,844,887		
しんえい	61,476,225	101,054,168	60.8%	63,138,625	101,523,109	62.2%	68,685,933	104,968,995	65.4%
けやき	74,927,093	132,020,841	56.8%	72,696,880	130,769,279	55.6%	80,758,537	129,161,768	62.5%
ぶどう	28,001,055	39,557,010	70.8%	28,805,061	42,140,629	68.4%	28,485,688	39,628,465	71.9%
コトイロ	18,050,369	12,671,706	142.4%	32,315,968	23,171,517	139.5%	29,341,933	31,517,455	93.1%
ララスマイル	27,733,887	39,613,697	70.0%	30,284,981	43,273,856	70.0%	34,344,274	39,113,190	87.8%
クラシック	2,614,897	3,429,271	76.3%	3,815,712	7,647,782	49.9%	4,480,562	7,934,115	56.5%
アンバス	16,243,510	7,668,408	211.8%	11,313,525	10,158,192	111.4%	14,743,532	15,519,403	95.0%
合計	233,745,003	336,015,101	69.6%	250,777,789	358,684,364	69.9%	270,685,346	367,843,391	73.6%



事業所別研修参加件数

所属	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ほっとサポート しんえい							2	1	2	2	2	1	10
けやき福祉園							1	2	8			2	13
ぶどう工房			1										1
コトイロ日和											1		1
ララスマイル							1		5		5		11
アンバス							4		5	1	5		15

事業所別苦情・事故件数

所属	苦情件数	備考	事故件数	備考
ほっとサポート しんえい	1	精麦機故障による騒音に対する苦情 (近隣住民)	0	
けやき福祉園	1	大雪による送迎車運行休止に対する抗議	1	入浴中の転倒による裂傷のため通院
ぶどう工房	0		0	
コトイロ日和	0		0	
ララスマイル	0		0	
クラシック	0		1	転倒による裂傷
アンバス	0		0	

※苦情は事業所において受け付けた件数。事故は新潟市へ報告した事案。

## ほっとサポートしんえい

### (1) 作業支援

<b>計画</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・けやき福祉園との連携によってグリーンセンター圃場管理やもち麦を中心に農福連携事業にも力を入れる。＜重点項目②＞</li><li>・利用者のニーズに合った作業を提供できるように、資源回収や農作業の拡大図っていくとともに、地域のかかわりの中から社会性を学ぶ。</li><li>・法人内事業所と連携して、もち麦を活用した六次化産業を提供していく。</li><li>・パン配達・販売を通して社会参加を図る。</li></ul>
<b>報告</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・もち麦の収穫期に鳥害によって収穫量が激減してしまった。大口の農業法人からの精麦受注が6月から義務化された HACCP (ハサップ) 食品管理衛生法の影響で受注がゼロになってしまったし、コロナの影響で全体の受注量は落ちた。</li><li>・施設外就労で特別養護老人ホームの清掃を行い委託料の固定収入が得られ助かった反面、前年から引き続き、空缶や古紙等の価格が低迷し収入が激減した。</li><li>・緊急事態宣言の影響で感染を恐れ数名の方々は一ヶ月以上の欠席が見られた。</li><li>・新栄町へのパン配達は定期的に継続実施ができた。</li></ul>

### (2) 生活支援

<b>計画</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・利用者個々のニーズを把握し、ケース会議等で検討し必要な支援を提供する</li><li>・個々に楽しめる活動を提供し、生活にメリハリが持てるよう支援する</li></ul>
<b>報告</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・リハビリや歩行訓練等を行い、身体機能の維持・向上に努めた。</li><li>・さまざまな課題作業を提供したり貼り絵をしたりして、日中活動の充実を図った。また、天気がいい時期は屋外に散歩に出たり、植物園に出かけ散策したりするなど屋外での活動を多く取り入れた。</li><li>・名前だけの登録者が数名在籍したり、長期欠席者もいることで稼働率も低下していたが、4月より3名の新規利用者も増えて前年に比べ平均で2名増えた。</li></ul>

### (3) 余暇支援 <重点項目①>

<b>計画</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・季節に応じた施設全体行事や、各事業の目的や希望に沿った行事を実施する</li><li>・年9回土曜日を開所し、外出・カラオケ・創作活動など様々なメニューを提供し余暇支援の充実を図る。</li><li>・年に1回、植物園までウォーキングを行う。他にも積極的に施設外を歩行し自然を感じることで生活に張りを持たせた支援を行い、合わせて近隣の体育館を利用して活動することで体力の維持向上を図る。</li></ul>
-----------	--

<b>報告</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>新型コロナウイルス感染症の影響でどんちゃん祭りを中止、また観光バスを使って実施していた日帰り旅行もできず、代わりに小グループで近間の観光地を回った。</u></li> <li>・<u>また、保護者会と合同で実施する「新年会・成人式」も施設内で保護者の参加を見送り実施した。利用者にとっては楽しみしていた色々な行事が殆ど中止となった。そんな中で、テイクアウトランチを取り入れて工夫したことは好評であった。</u></li> <li>・土曜開所日は調理実習やカラオケ等の娯楽活動を中心に実施したりして生活に張りを持たせることができた。</li> <li>・レクリエーションスポーツ活動は5月に実施、少し暑い日だったが植物園までウォーキングを行い日頃の運動不足解消に役立った。</li> </ul>
-----------	---

#### (4) 相談支援

<b>計画</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者及び家族と面談を行い個別支援計画の作成し実施。半年後に評価を行う</li> <li>・日頃から利用者の心配事や要望に常に耳を傾け、聞き取りの上個別面談や家庭訪問を行い、必要に応じて関係機関に繋ぐ。</li> </ul>
<b>報告</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別支援計画を作成し半年ごとに評価・見直しを行った。評価・見直しについては、利用者・保護者と面談を行い説明するとともに、新たなニーズについても確認したりしたが、<u>4月後半から発出された緊急事態宣言によって一部の方々は期間中の面接を電話や書面等で実施をした。</u></li> </ul>

#### (5) 送迎支援

<b>計画</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自力で通所が困難な方に自宅までの送迎支援を行う</li> </ul>
<b>報告</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活介護利用者は18名、B型利用者についても16名に対して送迎を行った。また、短期入所など他事業所を利用する際も送迎を実施した。</li> </ul>

#### (6) 支援サービスの質の向上

<b>計画</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①毎月、事業別ケース会議と職員会議を実施する。</li> <li>②必要に応じて関係機関を交えたケア会議を実施し、共通認識を持って支援を行う。</li> <li>③福祉制度や障害者支援に関わる内容だけでなく、幅広い各種研修に積極的に参加することで知識を深め、地域福祉に貢献できる人材育成に努める。また、定期的に施設内研修を行い職員のスキルアップを図る。</li> <li>④利用者のニーズに合わせて、B型、生活介護合同で活動する機会を設ける。一人ひとり役割を持つことで自身につなげ、より良い生活が送れるようにする。</li> <li>⑤利用者のニーズを把握するとともに、家庭状況や困り感を確認し、新たなサービス実施に向けた取り組みを行う。</li> <li>⑥虐待防止の取り組みとして3ヶ月に一回支援に関するセルフチェックとグループワークを行い、職員個々の振り返りと連携強化を図る。</li> <li>⑦感染症対策を強化する。</li> </ol>
-----------	---

<b>報告</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 毎月事業別にケース検討会議を行い、個別支援計画や評価の検討、確認を行ったり、利用者支援について検討したりした。また、職員会議では、各事業での作業や行事の検討や確認を行った。</li> <li>② 利用者・保護者との面談時には相談支援専門員やグループホームスタッフ等にも同席して頂き、支援について情報を共有するようにした。</li> <li>③ 主に「強度行動障害」や「自閉症」をテーマにした研修会（Zoom）には集中的に職員を参加させて個々のスキルアップを図った。また、施設内で研修報告会を行い、研修で得た知識を他職員に伝達研修を行った。</li> </ul>
-----------	---

### （８）地域社会・関係機関との連携

<b>計画</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 秋葉区障がい施設連絡協議会、新潟市知的障がい施設連絡会に所属し連携する</li> <li>② 地域交流イベント『どんちゃんまつり』を企画・実施する</li> <li>③ 町内資源回収やパン配達を通して、新栄町内や地域社会との交流を深める</li> </ul>
<b>報告</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① <u>コロナ禍の為、新潟市知的障がい施設連絡会及び秋葉区障がい施設連絡協議会の研修会はともに中止となった。</u></li> <li>② <u>地元とも交流イベントは全て中止となった。</u></li> <li>③ 毎月２回新栄町内の資源回収を行ったり、毎週木曜日には町内にぶどう工房のパン配達へ行ったりして、地域との交流を深めた。</li> </ul>

### （９）主な修繕、及び固定資産取得状況

品 目	数 量	契約金額	契約業者
食堂テーブル 15、椅子 60	1 式	1,679,700 円	株式会社天神屋
リフト付き乗用車	1 台	932,130 円	阿部自動車興業株式会社
生活介護トイレブース改修	1 台	869,000 円	秋葉建設工業株式会社
女子職トイレ便座修理	1 台	156,200 円	大宗建設工業株式会社

事業別利用状況

就労継続B型

定員

36

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ人数	723	592	820	803	664	771	815	704	754	651	696	871	8,864
開所日数	22	18	22	22	19	21	22	20	21	20	19	23	249
平均利用者数	33	33	37	37	35	37	37	35	36	33	37	38	36
利用率	91.3%	91.4%	103.5%	101.4%	97.1%	102.0%	102.9%	97.8%	99.7%	90.4%	101.8%	105.2%	98.9%

事業別利用状況

生活介護

定員

24

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ人数	394	289	405	378	307	363	382	363	380	327	329	410	4,327
開所日数	22	18	22	22	19	21	22	20	21	20	19	23	249
平均利用者数	18	16	18	17	16	17	17	18	18	16	17	18	17
利用率	74.6%	66.9%	76.7%	71.6%	67.3%	72.0%	72.3%	75.6%	75.4%	68.1%	72.1%	74.3%	72.4%

事業所全体利用状況

定員

60

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ人数	1,117	881	1,225	1,181	971	1,134	1,197	1,067	1,134	978	1,025	1,281	13,191
開所日数	22	18	22	22	19	21	22	20	21	20	19	23	249
平均利用者数	51	49	56	54	51	54	54	53	54	49	54	56	53
利用率	84.6%	81.6%	92.8%	89.5%	85.2%	90.0%	90.7%	88.9%	90.0%	81.5%	89.9%	92.8%	88.3%

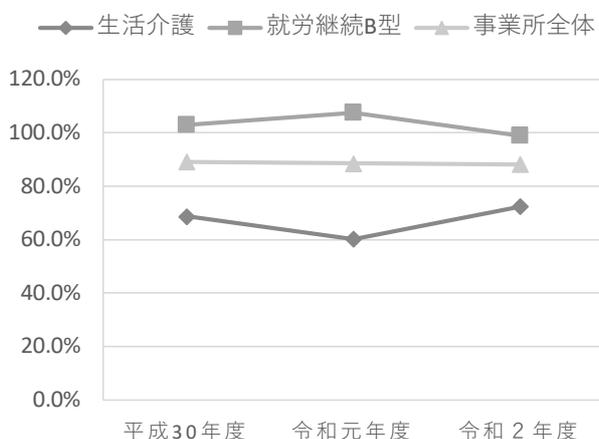
年度別利用状況

事業名	平成30年度				令和元年度				令和2年度				前年比 利用者数
	定員	開所日数	延利用者数	利用率	定員	開所日数	延利用者数	利用率	定員	開所日数	延利用者数	利用率	
就労継続支援B型	36	252	9,751	107.5%	36	247	9,003	101.2%	36	249	8,864	98.9%	△ 139
生活介護	24	252	3,638	60.2%	24	247	4,050	68.3%	24	249	4,327	72.4%	277
事業所全体	60	252	13,389	88.6%	60	247	13,053	88.1%	60	249	13,191	88.3%	138

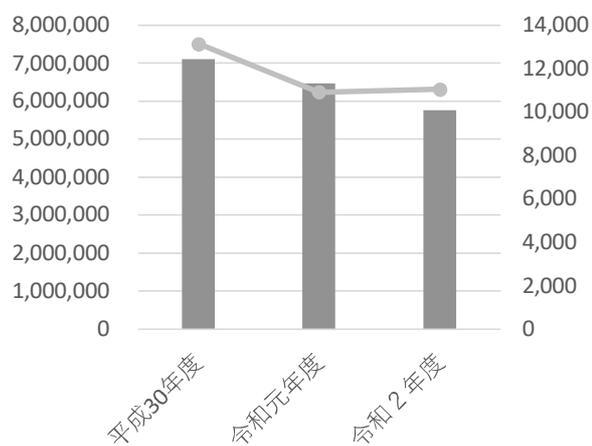
年度別工賃支払状況

事業名	平成30年度				令和元年度				令和2年度				前年比 平均工賃
	支払対象者数	売上高	工賃支払総額	月額平均工賃	支払対象者数	売上高	工賃支払総額	月額平均工賃	支払対象者数	売上高	工賃支払総額	月額平均工賃	
就労継続支援B型	45	6,477,112	5,592,468	10,923	47	6,830,219	5,820,341	12,025	42	5,767,986	5,272,066	11,053	△ 972

年度別利用状況推移



年度別工賃状況推移



## けやき福祉園

### (1) 作業支援

計画	<ul style="list-style-type: none"><li>・園芸ハウスを活用した野菜・ハーブ等の栽培、もち麦の製粉、施設内清掃、厨房洗浄を作業種目として加え、個々の特性に配慮した作業環境を提供するとともに自分で作業を選ぶことで意欲の向上につなげる。〈重点項目①〉</li><li>・グリーンセンター梨圃場に加えて柿圃場と庭園の管理業務を受託し、法人内事業所と協力して作業を行なうことで事業所間の連携を図り、工賃アップにつなげる。〈重点項目②〉</li><li>・農福連携を行なう地元農家を増やし、地域の方と関わりながら生産活動を行い社会性を学ぶ。</li><li>・法人内の事業所および地域の関連機関と連携して、もち麦を活用した6次化産業をすすめる。</li></ul>
報告	<ul style="list-style-type: none"><li>・市内農家からのハーブの育苗作業や赤しその栽培・加工作業の受託、市内飲食店からの製粉の受注等、作業種目を増やし細分化して活動を提供した。施設内清掃も利用者の意向を確認しながら計画的に取り組んだ。</li><li>・グリーンセンター圃場管理業務は、法人内事業所間で協力して取り組んだ。</li><li>・農福連携では、引き続き地域の方と関わりながら活動を行ったが、あきは農場レタス水耕栽培については事業を終了するとのことで今年度で終了となった。</li><li>・もち麦については、法人内事業所と協力して栽培や納品等を行った。</li></ul>

### (2) 生活支援

計画	<ul style="list-style-type: none"><li>・意思決定支援に基づき、「その人らしさ」を大切にしたい日課の組立てや作業環境の設定を行なう。</li><li>・常にチームで検討し一貫した支援を行なう。</li></ul>
報告	<ul style="list-style-type: none"><li>・利用者一人ひとりに合った活動環境を提供できるように努めた。また、利用者の意向を確認しながら活動内容を組み立てたり、生活に活かせるような課題作業の提供に努めた。</li><li>・日々の反省会で利用者支援についての振り返りを行った。課題が出た場合は職員会議等で検討し支援の統一を図った。</li></ul>

### (3) 余暇支援

計画	<ul style="list-style-type: none"><li>・個別の余暇活動を充実させ、特に外出の機会を増やし社会参加の促進を図る。〈重点項目③〉</li><li>・年間9回 休日に開所し、外出・調理・創作活動等、様々なメニューを提供し余暇支援の充実を図る。</li></ul>
----	---

<b>報告</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外出の制限がある中ではあったが、小グループで余暇活動を行った。法人内レストランや秋葉マンションを活用するなど、感染症対策を行いながら楽しめる活動を企画し実施した。</li> <li>・5月の休日開所を中止したが、主に第二土曜日に年間8回の休日開所を行った。コロナ禍のため、外出や調理活動はできず、主に感染症対策を徹底しながらのカラオケと地元飲食店のテイクアウトによる昼食等、室内での余暇支援の提供となった。</li> </ul>
-----------	--

#### (4) 相談支援

<b>計画</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常に利用者と対話することを心がけ、生活全般に関するニーズや不安、困りごとを聞き受ける。その情報を関係機関と共有することで、サービス等利用計画や個別支援計画に反映させていく。</li> <li>・家族の相談についても随時受け、必要に応じて面談・家庭訪問を行う。</li> </ul>
<b>報告</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の相談事にはていねいに聞き取ることを心がけて対応した。</li> <li>・利用者の希望を聞き取り、個別支援計画に反映させるようにした。また、半年に1回、個別支援計画の見直しを行い利用者・保護者に説明を行った。可能な限り相談員も同席してもらい、情報の共有を図った。</li> <li>・家族の相談事も随時受け付けた。施設に関わることは事実確認を行い、改善策の報告を行った。家庭に関わることは相談員に報告し、関係機関と連携して対応した。いずれも「相談受付」記録を作成し、職員間での情報共有を行った。</li> </ul>

#### (5) 送迎支援

<b>計画</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎を希望する秋葉区在住の利用者に対し送迎支援を実施する。 ※江南区、五泉市、阿賀野市についても一部実施する。</li> </ul>
<b>報告</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・秋葉区、五泉市在住の希望者に対し送迎支援を実施した。 *阿賀野市、江南区についても一部送迎支援を実施。</li> </ul>

#### (6) サービスの質の向上

<b>計画</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①おもに秋葉マンションを活用して「ハピネス活動」を行ない、自主的な活動の機会を提供する。パソコン、アート活動、調理、行事の計画等、日常生活に広がりをもてるような活動を行なう。 <b>&lt;重点項目③&gt;</b></li> <li>②毎月事業別ケース会議と職員会議を実施することで、課題について検討し情報を共有していく。</li> <li>③必要に応じて関係機関を交えたケア会議を実施し、共通認識を持って支援を行う。</li> <li>④福祉制度や障害者支援に関わる内容だけでなく、幅広い各種研修に積極的に参加することで知識を深め、地域福祉に貢献できる人材育成に努める。</li> <li>⑤虐待防止への取り組みとして、支援に関するセルフチェックとグループワークを実施し、個々の振り返りと連携強化を図る。</li> <li>⑥事故・ヒヤリハット案件について、会議・反省会等で周知し再発防止に努める。</li> <li>⑦感染症対策を強化していく。</li> </ol>
-----------	---

<b>報告</b>	<p>①秋葉マンションやけやき福祉園 2 階を活用して「ハピネス活動」を年間 7 回実施した。創作（アート）活動を行ったり、作業や工賃についての話し合いをしたりした。少人数で行う事で、自分の思いを伝える・決める・選ぶ機会をつくれるよう心がけて支援した。また、生活の豊かさにつながるような活動内容を検討し実施した。</p> <p>②毎月、事業別ケース会議と職員会議を実施し、個別支援計画の見直しや支援の振り返りを行った。困難ケースについては継続して支援の検討を行った。</p> <p>③多種サービスを利用している方や家族支援が必要な方等、必要に応じて関係機関とのケア会議を実施した。</p> <p>④コロナ禍のためほとんどの研修が中止になったが、感染症対策や地域コーディネーター等の研修にリモートで参加した。</p> <p>⑤虐待防止への取り組みとして、グループワークを年 3 回実施した。また、セルフチェックを 3 か月に 1 回実施し、日々の支援の振り返りの機会とした。他、メンタルヘルスチェックを毎月実施した。</p> <p>⑥事故・ヒヤリハット案件があった場合は速やかに報告書を作成し職員に周知した。また、職員会議時にその月の事故・ヒヤリハットについて再確認し、再発防止に努めてきた。</p> <p>⑦新型コロナウイルス感染症対策として以下の対応を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作業室等へ次亜塩素酸ナトリウム溶液の散布</li> <li>・作業環境への配慮（一方向を向いての作業）</li> <li>・食堂のパーティション設置と時間差での食事（密をさける）</li> <li>・時間ごとの換気と消毒</li> <li>・通所時の検温</li> <li>・職員のアルコール携帯（常時）</li> </ul>
-----------	---

## （7）地域社会・関係機関との連携

<b>計画</b>	<p>①ほっとサポートしんえいとともにあきはステップファームを受託し実施する。</p> <p>②秋葉山動物飼育業務の一環で、保育園・小学校の児童のエサやり体験を行なう。</p> <p>③Akiha もち麦プロジェクトをとおり、関連機関と連携しながら地域とのつながりを深める。小学校の総合教育等でもち麦の活用とそれに関わっている障がいのある人たちについて学ぶ機会を提供する。</p> <p>④地域のイベント等に積極的に参加する。</p> <p>⑤ボランティアや実習生、施設見学を積極的に受け入れる。</p>
<b>報告</b>	<p>①「あきはステップファーム」をほっとサポートしんえいと協力して実施した。敬愛こども園さんと農作業やお菓子作りを行い交流を深めた。</p> <p>②コロナ禍のため、エサやり体験を行う機会はなかった。</p> <p>③プロジェクトに参画し、ガス展やフードメッセに出展する等したが、小学校での出張授業は行う機会がなかった。</p> <p>④コロナ禍のため、地域のイベントへの参加はなかった。</p> <p>⑤可能な限り施設見学、実習生の受け入れを行った。特別支援学校生について、学校と相談し次の支援につながるよう配慮して実習受け入れを行った。</p>

## (8) その他

- 計画
- ・B型利用者トイレの改修 <重点項目④>
  - ・ビニールハウスの改修 <重点項目⑤>

- 報告
- ・6月15日～7月3日にトイレの改修工事を行なった。
  - ・3月にビニールハウス内部の改修を行なった。  
※次年度に屋根と側面の改修を行なう予定。

## (9) 主な修繕、及び固定資産取得状況

品目	数量	契約金額	契約業者
ガス給湯器据付工事	1台	21,890円	ホシザキ北信越株式会社
利用者トイレ改修工事	1式	2,959,341円	(株)馬場工務所
鉄骨ハウス資材・改修	1式	640,000円	新津さつき農業協同組合
発電機	1台	260,000円	北澤電機
自走草刈機	1台	209,000円	新津さつき農業協同組合
小型製粉機	1台	259,600円	(株)新潟クボタ
保冷库	1台	247,000円	(株)新潟クボタ

事業別利用状況

就労継続B型

定員

40

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ人数	883	725	1,021	998	834	951	1,020	901	921	836	863	1,053	11,006
開所日数	22	18	22	22	19	21	23	20	20	20	19	23	249
平均利用者数	40	40	46	45	44	45	44	45	46	42	45	46	44
利用率	100.3%	100.7%	116.0%	113.4%	109.7%	113.2%	110.9%	112.6%	115.1%	104.5%	113.6%	114.5%	110.5%

事業別利用状況

生活介護

定員

15

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ人数	355	296	361	356	310	339	359	322	330	307	304	377	4,016
開所日数	22	18	22	22	19	21	23	20	20	20	19	23	249
平均利用者数	16	16	16	16	16	16	16	16	17	15	16	16	16
利用率	107.6%	109.6%	109.4%	107.9%	108.8%	107.6%	104.1%	107.3%	110.0%	102.3%	106.7%	109.3%	107.5%

事業所全体利用状況

定員

55

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ人数	1,238	1,021	1,382	1,354	1,144	1,290	1,379	1,223	1,251	1,143	1,167	1,430	15,022
開所日数	22	18	22	22	19	21	23	20	20	20	19	23	249
平均利用者数	56	57	63	62	60	61	60	61	63	57	61	62	60
利用率	102.3%	103.1%	114.2%	111.9%	109.5%	111.7%	109.0%	111.2%	113.7%	103.9%	111.7%	113.0%	109.7%

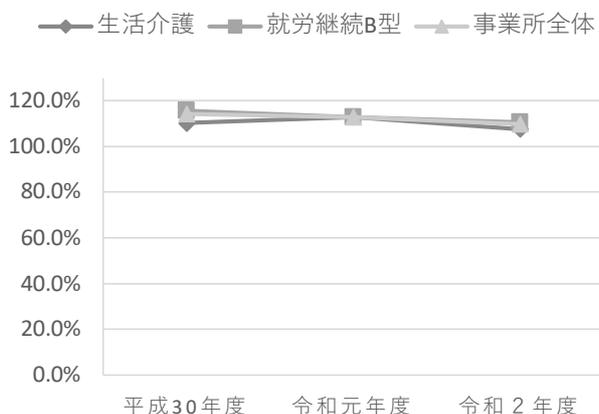
年度別利用状況

事業名	平成30年度				令和元年度				令和2年度				前年比 利用者数
	定員	開所日数	延利用者数	利用率	定員	開所日数	延利用者数	利用率	定員	開所日数	延利用者数	利用率	
就労継続支援B型	40	255	11,788	115.6%	40	244	11,005	112.8%	40	249	11,006	110.5%	1
生活介護	13	255	3,650	110.1%	13	244	3,577	112.8%	15	249	4,016	107.5%	439
事業所全体	53	255	15,438	114.2%	53	244	14,582	112.8%	55	249	15,022	109.7%	440

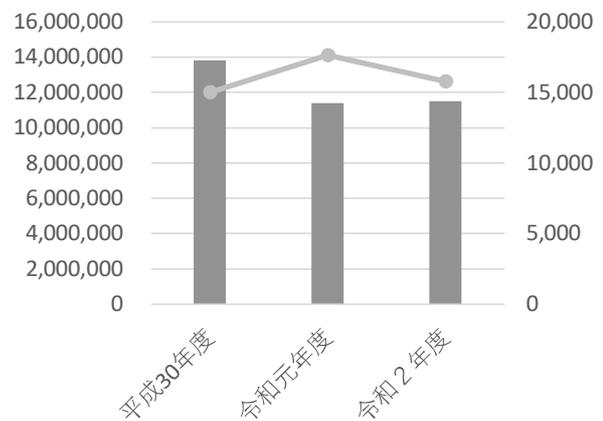
年度別工賃支払状況

事業名	平成30年度				令和元年度				令和2年度				前年比 平均工賃
	支払対象者数	売上高	工賃支払総額	月額平均工賃	支払対象者数	売上高	工賃支払総額	月額平均工賃	支払対象者数	売上高	工賃支払総額	月額平均工賃	
就労継続支援B型	58	13,807,405	9,481,259	15,050	57	11,400,604	10,617,490	17,666	49	11,505,852	9,054,161	15,801	△ 1,865

年度別利用状況推移



年度別工賃状況推移



## ぶどう工房

### (1) 作業支援

<b>計画</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・自主事業（パン製造販売）は、利用者の個々の特性を理解し、それぞれに合った無理のない作業設定を行うことで、その技能を高める。また、地域に愛される商品づくりをし、地域貢献、社会参加につなげる。</li><li>・受託事業（紙加工・米菓の詰め替え）は、年間を通して安定した作業量を確保し利用者に提供する。〈重点項目①〉</li><li>・施設外就労（企業・喫茶店営業）は、個別支援計画に基づき企業内で作業を実施する。職場により近い環境で仕事に対する姿勢やコミュニケーションの取り方などを学ぶことを目的とする。</li><li>・法人内の事業所と連携して、六条大麦を活用した6次産業を展開していく。</li></ul>
<b>報告</b>	<p>・自主事業では、パン・クッキー販売は、コロナ禍において春から夏は落ち込みがあった。秋以降、前年度同様の収益を上げることができた。受託事業では、段ボール加工（コロナ感染対策パーテーション）、米菓加工（菓ごもり需要）により増益を図ることができた。</p> <p>自主事業（パン製造販売）においては、今後「商品開発」「販路拡大」を目標としていく。</p> <p>・施設外就労は、「紙加工企業」に出向き作業に携わる。「喫茶店業務」は、コロナ感染防止のため、休止している。</p>

### (2) 生活支援

<b>計画</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・QOLを高めるため各自治体の制度やサービスの利用を促し、安定して充実した生活が送れるよう支援する。〈重点項目①〉</li><li>・利用者同士の交流を深めるための自主活動と地域の活動やイベント等に参加し、地域交流が持てるよう支援する。</li></ul>
<b>報告</b>	<p>・利用者の平均年齢が48歳と年齢が高くなるにつれて、ご家族（両親・兄弟姉妹等）も高齢化してきている。（一人暮らし世帯3名、夫婦世帯1名、G.H利用5名）生活全般にわたっての支援・相談の件数が増加している。</p> <p>・イベント等の参加はなく、日々、パンの販売や委託販売により地域とのつながりを保持している。</p>

### (3) 健康管理

<b>計画</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・安定した豊かな地域生活を送れるよう定期的な通院、服薬指導など、家族や医療機関、福祉などの関係機関との連携を行い支援する。</li><li>・主治医の指導のもと、定期的に通院し服薬の指導を受け病状の安定に努める。</li><li>・食品衛生法に基づき、年1回検便を実施する。</li></ul>
-----------	---

<b>報告</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画通り実施した。</li> <li>・体調の変化に早めに気づくことで、(早期発見) 早期治療に繋ぐことができた。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症対策を行う。</li> </ul>
-----------	---

#### (4) 相談支援

<b>計画</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年2回の定期面談を行い、利用の目的や今後について共に考える機会を作り個別支援計画を作成する。</li> <li>・個別相談を随時行い、利用者や家族からの日々の悩みや気持ちに寄り添いながら協力医や担当保健師など関係機関の連携を取り、相談に応じる。</li> </ul>
<b>報告</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・疾病の再発を防ぎ、安心・安全に生活を送れるよう支援した。</li> <li>・年2回の定期面談では、利用者の課題や意向を確認し、必要な支援及び助言を行った。</li> <li>・必要に応じて、医療機関・関係機関との連携を図ることができた。</li> </ul>

#### (5) 送迎支援

<b>計画</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分で通所困難な利用者に対して送迎支援を実施する。</li> <li>・定期的なスタッフミーティングを開催し、送迎支援に関わるスタッフとの連絡及び連携を常に図り、サービスの向上に努める。</li> </ul>
<b>報告</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月2回、送迎支援会議を開催し、利用者の日々の状態を把握し、必要に応じて支援を行った。</li> </ul>

#### (6) 支援サービスの質の向上

<b>計画</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 精神障害にともなう「生活のしづらさ」について、日ごろから医療機関、行政機関との連携を保ちながら、利用者の生活の安定のために支援する。〈重点項目②〉</li> <li>② 利用者に公平なサービスを提供できるよう、職員のミーティング(随時)・ケース会議(月2回)等を行い、利用者の体調や生活状況を把握し、情報を共有するよう努める。</li> <li>③ 職員の資質や専門性を高めるために、各種研修への参加を促進し、スキルアップをめざす。内部研修や勉強会を行い、知識の習得に努める。</li> </ol>
<b>報告</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画通り実施した。</li> <li>・各種会議を開催し、話し合いの場を設け協議を行うことで、課題の解決に結びつけることができた。</li> </ul>

### (7) 地域社会・関係機関との連携

**計画** ①地域の関係機関との関わりを持ち、地域に開かれた施設運営に努める。  
②地域で開催されるイベント等に積極的に参加し、利用者に社会参加・地域交流の場を提供するとともに地域に施設の情報の発信をする。

**報告** ・地域社会との連携は、コロナの影響により積極的な関わりを持つことができなかった。  
・区内においてパン販売を通しての関わりを持つことができた。

### (8) 主な修繕、及び固定資産取得状況

品 目	数 量	契約金額	契約業者
空調設備改修	一 式	7,100,000 円	株式会社 越配
冷蔵庫	一 台	440,000 円	東芝テック株式会社

利用状況

就労継続B型

定員

20

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ人数	416	339	431	384	336	372	433	328	364	340	309	406	4,458
開所日数	21	18	22	21	18	20	23	18	20	19	18	23	241
平均利用者数	20	19	20	18	19	19	19	18	18	18	17	18	18
利用率	99.0%	94.2%	98.0%	91.4%	93.3%	93.0%	94.1%	91.1%	91.0%	89.5%	85.8%	88.3%	92.5%

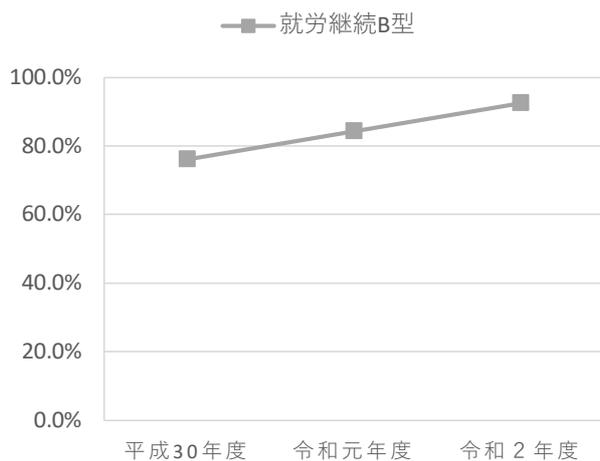
年度別利用状況

事業名	平成30年度				令和元年度				令和2年度				前年比 利用者数
	定員	開所日数	延利用者数	利用率	定員	開所日数	延利用者数	利用率	定員	開所日数	延利用者数	利用率	
就労継続支援B型	20	287	4,367	76.1%	20	269	4,533	84.3%	20	241	4,458	92.5%	△75

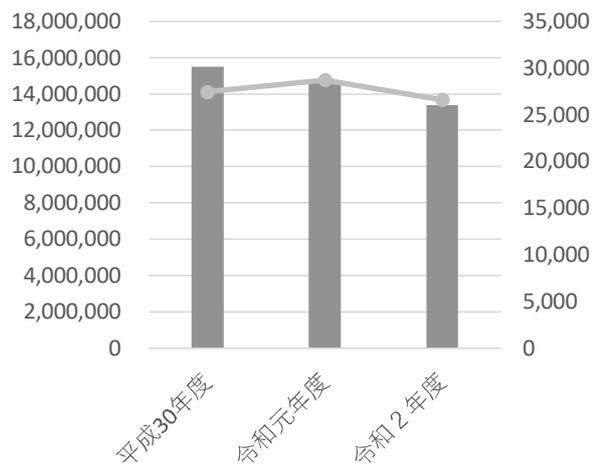
年度別工賃支払状況

事業名	平成30年度				令和元年度				令和2年度				前年比 平均工賃
	支払対象者数	売上高	工賃支払総額	月額平均工賃	支払対象者数	売上高	工賃支払総額	月額平均工賃	支払対象者数	売上高	工賃支払総額	月額平均工賃	
就労継続支援B型	24	15,491,283	7,544,319	27,434	24	14,682,205	8,183,514	28,714	23	13,392,551	6,179,818	26,615	△2,099

年度別利用状況推移



年度別工賃状況推移



## コトイロ日和

### (1) 作業支援

- 計画**
- ・専門職を中心に個別対応食（給食）の提供と共に厨房施設及び配達時の衛生管理・感染症予防に努めていく。〈重点項目③〉
  - ・働くことを通して自信を持ち、働きがいや生きがいを持てるような職場とする。また、個々の適性や作業スキルに応じて接客や調理補助を行いながらスキルアップを図れるよう支援する。

- 報告**
- ・衛生管理、感染症予防として職員と利用者の健康診断と検便、毎日の検温を実施した。厨房施設においてはミストジェネレーター（次亜塩素酸ナトリウム）と抗菌マットの設置をし衛生環境の徹底を行った。
  - ・定期的な面談を実施し、利用者のニーズに沿った支援を行った。
  - ・喫茶事業では、コロナの影響で4月～5月が前年度比55%減の収入であった。その後も大きく影響が出ると予測しテイクアウト商品、オードブルの販売に力を入れた。結果、前年度同様の収益を上げることができた。
  - ・自主事業では、前年度比79%の収入、受託事業では前年度比104%の収入であった。

### (2) 生活支援〈重点項目①〉

- 計画**
- ・安定した就労を支えるため、土台となる規則正しい生活を送れるよう助言する。課題解決に向けた取り組みについて、関係機関やご家庭と連携して行う。

- 報告**
- ・計画通り実施した。
  - ・利用者が規則正しい生活を送れるための助言や課題解決を関係機関やご家族と連携して行った。
  - ・安定した就労を支えるために利用者一人一人に応じた支援を職員間で共有し、支援場面で活かすように努めた。

### (3) 余暇支援〈重点項目①〉

- 計画**
- ・余暇活動（食事、買い物、社会資源の活用）の支援および助言を行い、豊かな生活を送れるよう支援する。

- 報告**
- ・新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、グループに別れてテイクアウト商品の買い物をした。事業所内での食事会とお楽しみ会を実施した。

### (4) 相談支援

- 計画**
- ・定期的にかつ必要に応じて随時、本人からの聞き取り等を行うことで生活状況等を把握し、就労面・生活面の不安や課題を軽減するように努める。
  - ・相談支援専門員等の関係機関と定期的に情報共有を図ることで、迅速な課題解決を図る。

**報告**

- ・計画通り実施した
- ・定期的にかつ必要に応じて随時、本人から聞き取り等を行うと共に、定期的に関係機関と情報共有を図ることで、迅速な課題解決を図った。

#### (5) 送迎支援

**計画**

- ・新津駅～事業所間の送迎支援を行う。
- ・新津駅以外の送迎は法人内で連携して行う。必要に応じて検討していく。

**報告**

- ・計画通り実施した。
- ・1日平均8名の送迎を行った。  
また、新津駅以外は法人内で連携した。

#### (6) 支援サービスの質の向上

**計画**

- ①各関係機関との連携を密にし、安定した就労ができるよう支援する。
- ②定期的な職員会議等の実施、また必要に応じて関係機関とのケア会議等を実施する。

**報告**

- ・利用者、保護者との面談時には相談支援専門員等にも同席して頂き、支援について情報を共有するようにした。
- ・定期的に職員会議を実施し、必要に応じて関係機関との連携を図った。

#### (7) 地域社会・関係機関との連携

**計画**

- ①地域と連携協力によるネットワークを強化し、地域のイベントや販売活動等に積極的に参加し、地域に根付いた事業所づくりに努める。

**報告**

- ・コロナの影響により地域のイベントの中止が相次ぎ参加はできなかった。

#### (8) 店舗（カフェ）のリニューアル<重点項目②>

**計画**

- ①目的  
利用者がより力を発揮できる店づくり  
利用者が安定して通所でき、一般就労に近い形での店にすることで、これまでの経験で培った力を十二分に発揮し、更なるスキルの習得が可能な生産活動を目指す。また、店舗の運営の強化対策の一環として、単価の見直しと新メニューの導入をする。  
令和2年7月リニューアルオープン予定。
- ②店舗名をカフェ・ド・オテントから「コトイロカフェ」へ変更する。
- ③営業時間の変更  
平日10:00～17:00を10:00～16:00に変更し、夕方から会議・打合わせ、振り返り、情報共有ができる体制をつくる。
- ④メニューの変更  
リニューアルと同時にメニューも変更し、単価の適正化を図る。

安心・安全な食材や大麦を使用した体に優しいランチ・カフェメニューを提供する。

- 報告**
- ①リニューアルオープンに伴い、利用者の持っている能力を発揮できるような支援があればよいか検討した。利用者がこれまでの経験を活かし、業務に遂行できる働きやすい環境づくりを進め、利用者の活躍の場を広げる店づくりを目指した。また、客単価アップのため、新メニューを取り入れ単価の見直しを図った。新型コロナウイルスの影響により、当初予定していた7月オープンを11月に延期した。リニューアルオープン後の売上（11月～3月）は前年度並みであった。
  - ②舗名をカフェ・ド・オテントから「コトイロカフェ」に変更した。
  - ③営業時間の変更については、変更ではなく新たにラストオーダーを設けることで夕方から会議や打ち合わせ等ができる体制にした。
  - ④安心・安全な食材を使用した新メニューを開発し、メニュー単価の見直しを図った。

(9) 主な修繕、及び固定資産取得状況

品 目	数 量	契約金額	契約業者
食洗器修繕（店舗）	— 式	164,890 円	株式会社 越配
ガスレンジ修繕（店舗）	— 式	72,600 円	株式会社 マルゼン
卓上真空包装機	— 台	500,000 円	中静産業株式会社
保冷庫	— 台	247,000 円	（株）新潟クボタ

利用状況 就労継続B型 定員 20

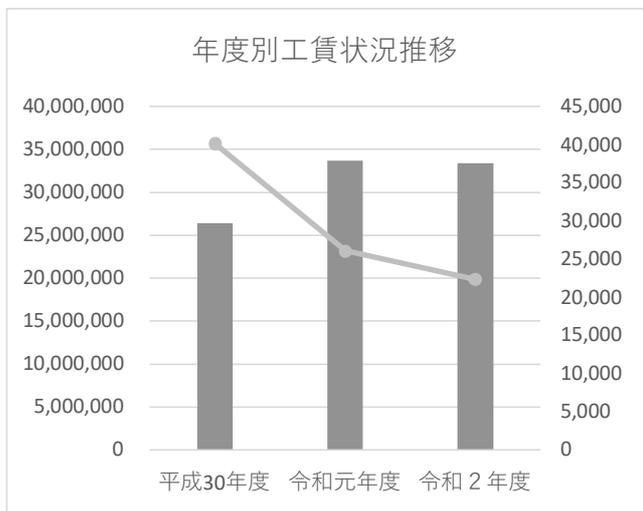
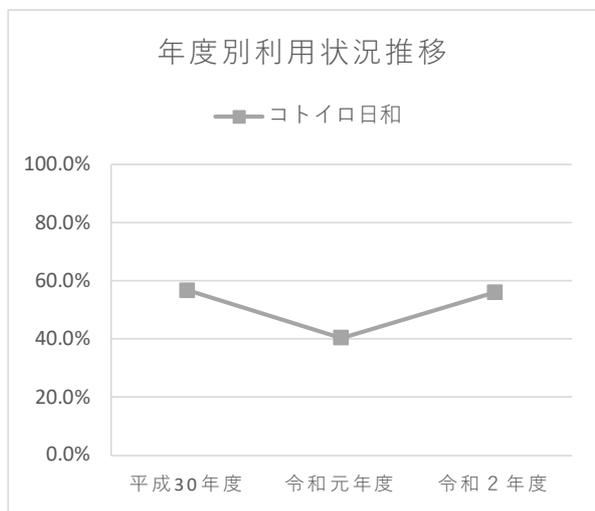
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ人数	300	279	351	342	301	329	366	301	326	276	283	381	3,835
開所日数	27	23	30	31	29	30	31	28	29	27	27	31	343
平均利用者数	11	12	12	11	10	11	12	11	11	10	10	12	11
利用率	55.6%	60.7%	58.5%	55.2%	51.9%	54.8%	59.0%	53.8%	56.2%	51.1%	52.4%	61.5%	55.9%

年度別利用状況

事業名	平成30年度				令和元年度				令和2年度				前年比 利用者数
	定員	開所日数	延利用者数	利用率	定員	開所日数	延利用者数	利用率	定員	開所日数	延利用者数	利用率	
就労継続支援B型	10	304	1,725	56.7%	20	352	2,834	40.3%	20	343	3,835	55.9%	1001

年度別工賃支払状況

事業名	平成30年度				令和元年度				令和2年度				前年比 平均工賃
	支払対象者数	売上高	工賃支払総額	月額平均工賃	支払対象者数	売上高	工賃支払総額	月額平均工賃	支払対象者数	売上高	工賃支払総額	月額平均工賃	
就労継続支援B型	10	26,428,177	4,298,333	40,171	14	33,669,963	3,833,850	26,081	17	33,355,666	4,652,630	22,368	△ 3,713



## ララスマイル

### (1) 発達支援

**計画** ・発達課題、障害特性に応じた支援、個別/グループプログラムを実施する  
・ソーシャルスキルトレーニングの実施

**報告** ・利用ニーズや個別の発達課題、特性に応じた個別支援計画を作成し、個別、グループでの活動機会を組み合わせ支援を実施した。  
・小グループ単位及び個別での SST の機会の提供を行った。

### (2) 余暇支援

**計画** ・興味のもてる、楽しめる活動を提供する  
(一人遊び、グループ遊び、創作活動、季節行事活動、外出活動)

**報告** ・個別の日課の中で、様々な活動の機会を提供するとともに、季節に応じた行事の機会を提供した。(コロナ禍により外出及び大人数での行事は減少した)

### (3) 日常生活支援

**計画** ・基本的動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練を実施する  
(排せつ、食事、着脱、言語、集団生活)

**報告** ・個別の特性、発達段階に応じて、課題となる生活動作、技能の取得に向け、個別対応での活動機会を提供した。

### (4) 学習支援

**計画** ・学校、家庭と連携し、宿題の見守り、学習への取り組みを支援する

**報告** ・計画どおり実施した。

### (5) 送迎支援

**計画** ・江南特別支援学校へ進学し、自力登校が困難な子どもに対して、学校までのお迎えの送迎支援を行う。また、将来の自立に向けた取り組みや家族の状況等に応じて、希望する子どもに対して、利用終了後の自宅までの送迎支援を行う。〈重点項目①〉

**報告** ・計画どおり江南特別支援学校へのお迎えを実施すると共に、家族の療育状況や家庭環境、緊急時等においては、必要に応じて帰りの送迎支援を実施した。

## (6) 延長支援

**計画** ・休業日においては8時00分から9時00分、17時30分から19時00分までの延長支援を実施する

**報告** ・計画どおり実施した。

## (7) 相談支援・家族支援

**計画** ・定期的な個別面談を実施するとともに必要に応じて家庭訪問を実施する  
・こどもの発達課題や障害特性への理解を深め、具体的な手立てと見通しをもった取り組みを通して、「障害受容」を支える  
・保護者間の情報共有や悩み相談等を気軽に行える場「うらかフェ」を実施し、つながりを感じながら子どもの養育に向き合うことができるよう支援を行う。〈重点項目②〉

**報告** ・定期的な個別面談の機会を設けるとともに、個別の状況によって、集中的な相談支援、家庭訪問、支援会議等を行った。  
・「うらかフェ」の実施はコロナ禍の影響もあって実施を断念した。

## (8) 支援サービスの質の向上

**計画** ・個々のニーズに応じた支援を提供できるよう、個別活動と集団活動を効果的に組み合わせた日課の組み立てを行う。※記録と支援状況の振り返りの徹底を図る。  
・事業所内研修、勉強会や各種研修会参加等を通して、専門事業所としての支援力の向上を図る。  
・ソーシャルスキルトレーニング支援の質を高めるために、各種研修会に参加するとともに、事業所内でSST勉強会を実施する。  
・毎月、ケース会議と職員会議を実施する。  
・地域の利用ニーズに応じた新規事業所の設置に向け、開設準備を行う。〈重点項目③〉

**報告** ・計画どおり実施した。  
・外部研修の機会は減ったがオンラインでの研修参加を行った。  
・研修の機会が少ないこともあり事業所内で支援に関する勉強会を実施した。  
・利用ニーズにあった新規事業所開設準備を行った。当初の予定場所からは変更となったが定員も充足し、4月からの事業所開設に至った。

## (9) 地域社会・関係機関との連携

**計画** ・新潟市放課後等デイサービス事業所ネットワークの運営、所属。  
→同事業者との研修会の実施、学校に対する説明会・研修会の実施。  
・「つながる支援ファイル」の活用及び普及、啓発活動。  
・余暇支援において、地域資源を積極的に活用する。  
・ボランティア、学生の体験学習の受け入れを行う。

<b>報告</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 放デイネットの運営に参加し、事業所間の交流や関係機関の連携、支援の質向上に向けた取り組みを行った。</li> <li>• 計画通り実施した。</li> <li>• コロナ禍の影響で地域資源の活用やボランティアなど外部の方の受け入れが難しい状況にあった。</li> </ul>
-----------	--

(10) 主な修繕、及び固定資産取得状況

品 目	数 量	契約金額	契約業者
なし			

## クラシック

### (1) 支援内容

**計画** 利用される方に応じて必要な支援を提供する  
①入浴、排せつ、食事の介護  
②健康管理  
③食事の提供  
④相談及び助言

**報告** ・ご家族、本人より利用ニーズや状況の聞き取りを行うとともに、所属先との情報共有を図り、計画どおり、必要な支援の提供を行った。

### (2) 支援サービスの質の向上

**計画** ・主となる職員の配置と職員体制の拡充を図り、希望ニーズに対応する体制を確保する。＜重点項目①＞  
・所属事業所と連携し、グループホームを希望される方の相談と実現に向けた検討を行っていく。＜重点項目②＞  
・自分の時間を豊かに過ごすことができるよう、余暇（趣味）や役割（手伝い）の具体的な提案、体験を支援する。また、余暇の時間を他者と関わりながら過ごすことができるよう環境の充実を図る。  
・各種会議、ケース検討の実施及び研修会への参加。

**報告** ・主任職員の配置を行い、体制の強化を図った。  
・グループホームの紹介や体験利用につながるよう支援を行った。  
・余暇時間の充実向け、自由に使用できる余暇グッズの設置を行った。  
・計画どおり実施した。

### (3) 地域社会・関係機関との連携

**計画** ・安心して暮らすことができる地域社会との関係づくり。  
・行政及び関係機関との連携・協働を図る。

**報告** ・行政や関係機関に対して、事業の実施状況、受け入れ体制、支援状況等についての情報を提供し、事業理解を図った。

### (4) 主な修繕、及び固定資産取得状況

品目	数量	契約金額	契約業者
なし			

## ラスマイル

利用状況 放課後等デイサービス 定員 20

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ人数	464	361	544	532	469	493	544	474	502	433	437	559	5,812
開所日数	25	22	26	24	22	24	26	22	24	23	21	26	285
平均利用者数	19	16	21	22	21	21	21	22	21	19	21	22	20
利用率	92.8%	82.0%	104.6%	110.8%	106.6%	102.7%	104.6%	107.7%	104.6%	94.1%	104.0%	107.5%	102.0%

### 年度別利用状況

事業名	平成30年度				令和元年度				令和2年度				前年比 利用者数
	定員	開所日数	延利用者数	利用率	定員	開所日数	延利用者数	利用率	定員	開所日数	延利用者数	利用率	
就労継続支援B型	20	290	5,468	94.3%	20	283	5,969	105.5%	20	285	5,812	102.0%	△ 157

## クラシック

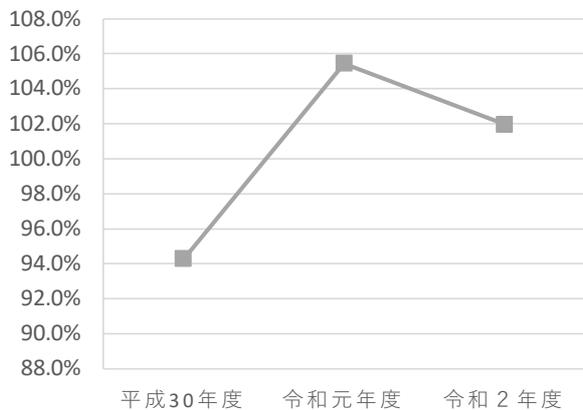
利用状況 短期入所 定員 5

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ人数	18		41	47	45	49	59	51	57	50	52	51	520
開所日数	6		11	12	10	12	13	13	12	12	12	12	125
平均利用者数	3		4	4	5	4	5	4	5	4	4	4	4
利用率	60.0%		74.5%	78.3%	90.0%	81.7%	90.8%	78.5%	95.0%	83.3%	86.7%	85.0%	83.2%

事業名	平成30年度				令和元年度				令和2年度				前年比 利用者数
	定員	開所日数	延利用者数	利用率	定員	開所日数	延利用者数	利用率	定員	開所日数	延利用者数	利用率	
短期入所	5	99	265	53.5%	5	116	466	80.3%	5	125	520	83.2%	54

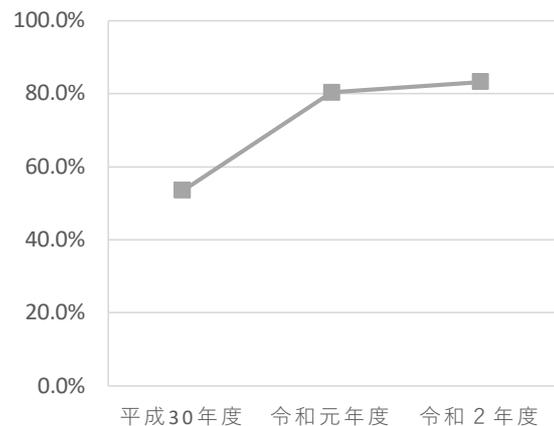
ラスマイル年度別利用状況推移

■ 放課後等デイ



クラシック年度別利用状況推移

■ クラシック



## 相談支援センター アンパス

### (1) 計画相談支援 <重点項目①②>

<b>計画</b>	対象者：障害福祉サービスを申請した障がい者又は障がい児 ①ニーズや課題の整理 ②ニーズや課題に基づいた障がい福祉サービス等に関する情報提供 ③必要な障がい福祉サービスについてのサービス計画案作成 ④支給決定後のサービス利用計画作成と障がい福祉サービス利用に関する調整 ⑤障がい福祉サービス利用後、一定期間毎のモニタリングと必要に応じての計画書の見直し
<b>報告</b>	全ての項目について、実施できている。年度の途中で新潟市より計画相談における支援の流れや整備が必要な書類について新たなガイドラインが示され、研修や相談支援専門員の連絡会などで確認し、旧体系から新体系へと段階的に移行することができている。

### (2) 支援サービスの質の向上 <重点項目③>

<b>計画</b>	①秋葉区ケース会議（事例検討等）に参加する。（月1回） ②その他必要に応じた研修に参加する。 ③安全運転、法令順守、事故防止に努める。 ④個人情報取扱要項に基づき、個人情報保護に努める。
<b>報告</b>	達成できている。研修について、年度の後半に集中したが、障がい児支援に関する良質な研修に複数回参加することができている。

### (3) 地域社会・関係機関との連携 <重点項目②>

<b>計画</b>	①安心して暮らすことができる地域社会の実現への貢献 ②市及び関係機関、地域社会との円滑な連携、支援ネットワークの構築を図る。
<b>報告</b>	関係機関との連携は概ね円滑に行うことができている。特に教育機関との連携や支援ネットワークの構築のための会議の開催が増えており、調整や進め方等「つなぐ」スキルがより必要と感じている。

### (4) 主な修繕、及び固定資産状況

品目	数量	契約金額	契約業者
空気清浄機	1台	110,000円	上新電気株式会社

事業別実施状況

特定相談支援

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
計画	35	14	17	16	17	20	36	23	16	18	13	12	237
モニタリング	49	60	73	61	53	45	50	36	44	45	45	53	614
合計	84	74	90	77	70	65	86	59	60	63	58	65	851

事業別実施状況

障害児相談

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
計画	13	5	9	6	6	3	8	4	9	5	6	12	86
モニタリング	5	10	20	7	14	16	8	8	11	9	9	14	131
合計	18	15	29	13	20	19	16	12	20	14	15	26	217

年度別実施状況

事業名	平成30年度			令和元年度			令和2年度		
	登録者数	計画	モニタリング	登録者数	計画	モニタリング	登録者数	計画	モニタリング
特定相談	225	178	157	207	206	339	203	237	614
障害児相談	60	84	57	70	83	60	81	86	131
合計	285	262	214	277	289	399	284	323	745

